

<博士課程：分子細胞医学専攻、生体機能調節医学専攻、地域疾病制御医学専攻>

研究テーマの妥当性：

学術的意義、新規性、独創性、応用的価値を有しているか。

当該分野および関連分野の学問研究に貢献できる内容を含んでいるか。

研究方法と論旨の展開：

研究方法が明確かつ具体的に記述されているか。

事実調査や文献などの研究資料の検索・評価が十分になされているか。

研究データの分析・解釈が的確であるか。

結果および解析・考察の展開が論理的かつ説得力があるか。

文献などの研究資料の読解が正確であるか。

学術的意義：

研究内容に独自性があり、十分な検証が行われ、新しい知見を有しているか。

当該研究の限界が明示されているか。

未解決の問題について、今後の見通しが提示されているか。

当該研究において達成された内容が、今後の教育・研究・診療などに貢献しうるか。

論文構成：

博士学位論文として、テーマにふさわしい適切かつ十分な分量と形式を有しているか。

文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。

倫理的配慮：

研究の対象となる個人の人権擁護、個人の尊厳および人権が尊重されているか。

ヘルシンキ宣言や個人情報の保護に関する法律を踏まえているか。